

瑞穂鯨城会ウォーキングクラブ「聚楽園公園から観音寺へ」

実施日：2024.11.21（金）



先月の猛暑が嘘の様に過ぎ、今週に入り朝晩の気温も下がり晩秋が深く感じられ、アウターが欲しい陽気になりました。青空には、雲は無く秋から冬に至る凜とした風を受け絶好のウォーキング日和です。名鉄金山駅に男性9名、女性10名の多数の方が9:10に集合し、9:19発中部国際空港行き準急に乗車しました。通勤時間を外して計画しているにもかかわらず、以外な混みようで、多くのインバウンドの方が大きなバックを抱えて乗車されており、通勤者が大江川駅で下りて全員座席を確保する事ができました。聚楽園駅に9:32に下車しホームから海岸丘陵を仰ぎ見れば、巨木の森の上からニョッキリ端正な顔を覗かせて大仏様が朝の挨拶をした様な気がしました。

①聚楽園の大仏

国道R247を渡りロータリーの案内地図看板の前で全員の点呼をし、今日のコース説明をしました。緩い参道を上り急登の階段を上りきると両側に大きな阿吽の仁王像が出迎えてくれます。

その手前の階段途中でカメラマンからの指示により恒例の集合写真の撮影があり、朝の弱い日差しと深い森の木立で陰影がありましたが、元気な笑顔がこぼれました。

先ず、大きな青銅の常香炉を前にして大仏様に安全ウォーキングを祈願をし、脇の案内看板によれば守口漬を発明した山田才吉さんが、昭和2年に昭和天皇のご成婚記念して開眼供養され、その当時一番大きな大仏を鉄筋コンクリートで建設、高さ18.79mだそうです。

大仏のご尊顔は鎌倉の高徳院の大仏をモデルにし、大仏の柔和な顔立ち、全体に流れるような曲線美等当時から称賛を受けたそうです。

②嚶鳴庵で女性陣は抹茶セット、男性陣はトリム広場で童心に還る。

大仏を後にしてヤカン池の溜池堰堤をウォーキングすれば、紅葉祭りは一週間程早く、残念ながら湖畔の木々は青紅葉でしたが、水面に映る木々を眺めればこれも一興です。

山の中腹の嚶鳴庵の茅葺門を潜れば、石畳の先には鄙びた数寄屋風の嚶鳴庵茶室です。回遊式庭園を活かした静かな環境は入場制限があり、全員の対応は難しい事を理解し、ご希望の多いご婦人を優先し、抹茶セットいただきました。「結構なお点前を堪能されました」とか？

因みにウィキペディアによれば、嚶鳴庵は細井平洲先生の江戸で開いた塾の名前「嚶鳴館」に因んだ名前です。「嚶鳴とはお互いに議論をし切磋琢磨する事を言います」

男性陣はふれあい橋を渡りトリム広場に向かいます。体力測定を思わせる運手の鉄棒を握り昔の体力を確認すべく懸垂するつもりが、その体力も無くただ単にぶら下がっているのが精いっぱいでした。

「子供の頃は鉄棒が得意で逆上がりや、大車輪までできたのに！どうして？」そんな声もありました。長いスロープ滑り台を勢い良く童心に還って、カメラマンの指示で連結して滑り下りです。

「いい写真が撮れた！来年の趣味の作品展に出品！また、区民賞が狙えるね！」そんな声もありました。嚶鳴庵を後にして、花の広場を通り抜けて、綺麗に植栽された花壇を觀賞しながらふれあいガーデンに寄道します。東海市ふれあいの村の温泉・レストランや会議室のあるタイル張りの潇洒なモダン建築のテ

ラスから森に囲まれたヤカン池を眺め、小休止のゆったりまったりのリハビリWです。

③ 県道 R249 歩道連絡橋から観音寺を経て新日鉄前駅

聚楽園公園の稜線を辿る遊歩道を出れば、県道に掛かる白い大きな歩道連絡橋を渡ります。橋の中央から西方面を望めばジオラマ模型のように国道 R247 の先に名鉄常滑線、その先には住宅の他企業の事務所・倉庫・工場等を足元に俯瞰する事ができます。その先の産業道路を隔てて、新日鉄の工場群・煙突などの他、遠くに溶高炉も確認する事もできました。また、右手には愛知製鋼の工場群など観てとれます。その先は眼が霞んでおぼろげながら工場建物を透かして伊勢湾が望めます。またその先は養老山脈と鈴鹿山脈の稜線がはっきり眺める事ができました。

橋を渡り終え、左手には大型ショッピングセンターのアピタ、右手には海岸丘陵の森を眺めながら草地の遊歩道の緩い坂を辿れば加家公園（行の広場）に至ります。芝生広場を横切り一旦住宅地市道を辿り観音寺に寄ります。観音寺は知多八十八カ所の八十六カ所の札所で、東海市市民なら誰もが知る細井平洲先生が学んだお寺として有名な古刹です。

ウィキペディアによれば、細井平洲は江戸時代の儒学者で米沢藩中興の祖と言われる上杉鷹山の師として多くの教えを残しています。また、尾張藩の藩校「明倫堂」の督学（校長）としてその名を残しています。東海市役所の入口には「先施の心」の碑があります。その意味は誰よりも先に率先して善い行いをし、先に施す心掛けて行動しなさい。との教えです。「平洲先生は偉いな！」

また、境内には樹齢八百年以上と言われる大楠が圧巻でした。

大楠に見送られて参道の石段を下り生活道路の市道を横切り、登り返して明城大学の三叉路分岐に至りました。予定ではここで一旦ショートコースとロングコースに分かれてロングコース参加者は大池公園経由で太田川駅までのウォーキングの予定でしたが、皆さんに確認したところ時間の制約もあり、参加者がいないため全員新日鉄前駅から帰路に就くことになりました。

東海製鉄前駅 12:14 に乗車して、多くの方は金山駅で楽しいランチタイムをされた事でしょう。小生は神宮前駅で下車して、本願寺町までウォーキングで帰宅し 13 時過ぎにゴールインしました。因みにスマホ歩数計では、総歩数：14,000 歩、歩行距離：9.9km、歩行時間：2:15 でした。

（写真提供：北川 健一） {

